

今は昔、平安京の大内裏、紫宸殿と仁寿殿の間には、屋根のない大床、すなわち露台があり、そこでは公事を終えた殿上人らが集って歌い舞い、酒を飲んで楽しんだと謂われています。

〈露台乱舞〉。ここに千年の時を経て、平安貴族の歌舞の宴が舞台作品となって甦りました。復曲・構成は、宮内庁楽部出身の楽師、芝祐靖。氏が音楽監督を務める雅楽団体「伶楽舎」の演奏は、本来の雅楽が儀礼音楽にとどまらない、豊かな表情をもった芸術であることを、私たちに教えてくれます。

奈良時代に日本にもたらされ、平安時代に隆盛を極め、現代まで受け継がれてきた伝統音楽「雅楽」。その長い歴史のあいだには、

失われたものも、決して少なくありません。東大寺正倉院には、かつて使われていたはずの様々な楽器が残されており、今日伝わる古い楽譜のなかには、伝承の途絶えた謎多き楽曲も存在しています。

現代に生きる雅楽人たちは、雅楽の源流を見直し、伝統を未来に伝えるべく、廃絶曲の復曲や新作の上演に取り組んできました。平安朝随一の横笛の名人・源博雅編纂の楽譜に記された古舞曲〈曹娘禪脱〉。笙奏者・宮田まゆみが古代楽器・竽(笙の低音楽器)のために作曲した〈滄海〉。20世紀日本を代表する作曲家・武満徹による新作雅楽の名曲〈秋庭歌〉。今に残る古典曲と失われた音楽、そして新たに生まれた音楽——七夕の夜、雅楽の今と昔が出逢います。

当代屈指の楽師の集う「伶楽舎」 七夕の夜に奏でる 雅楽の今と昔



伶楽舎（れいがくしゃ）

Reigakusha, Gagaku Ensemble

雅楽の合奏研究を目的に1985年に発足した雅楽演奏グループ。音楽監督・芝祐靖。現行の雅楽古典曲以外に、廃絶曲の復曲や正倉院楽器の復元演奏、現代作品の演奏にも積極的に取り組み、幅広い活動を展開。国内各地の他、海外の主要ホールに招聘されて演奏。古典曲や現代曲、復元曲のCD等も多数録音。現代作品や古典雅楽様式の新作として、これまで湯浅謙二、池辺晋一郎、増本伎共子、西村朗、猿谷紀郎、権代敦彦、伊左治直、芝祐靖他に作品を委嘱、自主公演で初演。2002年中島健蔵音楽賞特別賞、CD『秋庭歌一具』で2002年度芸術祭レコード部門優秀賞受賞。第16回（2016年度）佐治敬三賞受賞。他に、解説入りの親しみやすいコンサートを企画し、雅楽への理解と普

及に努め、子どもや小中学生のためのワークショップなども数多く開催している。なお「伶楽舎」とは「伶倫樂遊舎」、即ち、楽人の祖とされる古代中国の「伶倫」に因み、雅楽の源と新しい雅楽の創造を探求する、自由な活動を目指してつけられた会名である。

国内では、国立劇場、サントリーホール等主要ホールでのコンサートの他、全国の小中学校で公演。海外では、タングルウッド（セイジ・オザワ・ホール）、ニューヨーク（リンカーン・センター、カーネギー・ホール）、ロサンゼルス（ウォルト・ディズニー・コンサートホール）、シカゴ（シンフォニー・センター）、ロンドン（クイーン・エリザベス・ホール）、アムステルダム（コンセルトヘボウ）、ケルン（ケルン・フィルハーモニー・ホール）他、約30都市で演奏。

<http://www.reigakusha.com>

<https://www.facebook.com/reigakusha>



宮田まゆみ（笙・竽）

Mayumi Miyata, Sho, U

国立音楽大学ピアノ科卒業後、雅楽を学ぶ。古典雅楽はもとより、ジョン・ケージ、武満徹、ヘルムート・ラッヘンマン、細川俊夫など現代作品の初演も多く、小澤征爾指揮サイトウ・キネン・オーケストラ、シャルル・デュトワ指揮NHK交響楽団、アンドレ・プレヴィン指揮ニューヨーク・フィル他、国内外のオーケストラと数多く共演。東京、ニューヨーク、ウィーン、ロンドンなどのリサイタルと幅広く活躍している。2016年に行った『甦る古譜と現代に生きる笙シリーズIII』によって2017年芸術選奨文部科学大臣賞を受賞。今までに芸術選奨文部大臣新人賞、中島健蔵賞、佐治敬三賞、松尾芸能賞優秀賞など受賞。国立音楽大学客員教授。伶楽舎メンバー。

●チケットの取り扱い

水戸芸術館（9:30～18:00／月曜休館）

・エントランスホール内チケットカウンター

・水戸芸術館チケット予約センター 029-231-8000

・ウェブ予約 <https://www.arttowermito.or.jp/tickets/ticket.html>

e+（イープラス）<http://eplus.jp>（PC・携帯）

かわまた楽器店 029-226-0351

ヤマハミュージッククリテイリング水戸店 029-244-6661

●ユースチケットについて（枚数限定）

○25歳以下の方が対象のお得なチケットです（未就学児不可）。

○ご購入いただきましたご本人様のみご利用いただけます。

○当日ご入場の際には、年齢を証明するものが必要となります。

○取り扱いは水戸芸術館のみとなります。

●交通ご案内：JR常磐線水戸駅北口より、

バスターミナル4～7番のりばから泉町1丁目下車、徒歩2分。

水戸芸術館 水戸市五軒町1-6-8 ☎310-0063

TEL.029-227-8111 <https://www.arttowermito.or.jp/>

◎車椅子のお客様、盲導犬、介助犬同伴のお客様は、指定の座席へのスムーズなご案内のため予約時にお知らせください。

◎公演中止の場合を除き、一度購入されたチケットの払い戻し、交換等は出来ませんのでご了承ください。◎公演の内容、曲目等は、変更になる場合があります。◎未就学児のご入場はご遠慮ください。

